

今回のインタビューは、海田町消防団長に就任された山本昭さんに、消防団の組織や防災についてお聞きました。

聞き手 岡田 良訓 委員



地域住民の生命財産を守る使命をうけて

海田町消防団長 山本 昭さん
やまもと あきら

消防団の構成は怎么样了
ますか。

本 部と三つの分団があり、現在百九名の団員で内、女性が七名、平均年齢42.5歳で23歳から65歳の構成です。女性団員がもう少し増えたなら、女性の視点から高齢者に防災についてのアドバイスなどができるようになるのがね：

活動内容を教えてください。

二 月から三月の実戦的な林野防御訓練、五月から六月は水防訓練、秋には小型ポンプ操作方法の競技大会や警察とのタイアップで防災防犯パトロール、二カ月に一回の機器の整備点検などがあります。

防災の心得は何ですか。

防 災訓練には積極的に参加することはもちろん、火事や地震などの災害がおこったときは、慌てないこと、地震などのときは家具などの下敷きにならないように安全なところに身を隠す、身の安全を確保し、火の始末をすることですね。避難場所の確認や非常事態に備えて、日頃から

家族で防災の話し合いをし、連絡方法など決めておくことなどが大事です。
団長として消防団員に望むことはどんなことですか。

消 防団員は健康に注意し、チームプレイが大切です。まずは和を大切にすること。団長として心がけています。

消防行政に望むことをお聞かせください。

い ろんなな装備が更新の時期にきているので、機器装備の充実と近代化を急いでほしいですね。

今後ますますのご活躍を期待しております。



水防訓練での指揮をとる山本さん